

令和5年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
1	小諸市福祉企業センター	(福)長野県知的障害者育成会	福祉課	C (C)	62 (61)	【所管課意見】 電気使用量△9.9%、都市ガス使用量△4.7%と光熱費の節約に努めていただいた。利用者の高齢化や新規利用者の退所により、令和6年度指定管理費を225万円から300万円に増額した。令和6年度から正職員をパートにする取り組みが行われるが、福祉の受け皿的な施設であることから質の低下につながらないように注視したい。
2	小諸市野岸の丘総合福祉センター	(福)小諸市社会福祉協議会	福祉課	C (C)	60 (61)	【指定管理者意見】 施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加しており今後も増加が予想される。令和4年度には事務所内冷暖房の修理、トイレ入口ドアの設置工事を行った。仕事のしやすい環境づくり、また市民を中心に多くの人が利用する施設として、環境改善は継続して行っていく必要がある。また市民が相談来所された際に入りやすいような明るい雰囲気施設の施設となるような整備について今後検討していく。 立木の整理についても枝の落下等による負傷者が出ないように、今後も継続した枝の伐採が必要である。 【所管課意見】 清掃や施設貸出は問題なく出来ている。エレベーターが古く、メーカー対応ができないとの報告を受けている。(改修費用1,000万円超)大規模修繕については、今後の施設利用計画についてマネジメント推進係と検討し、対応したい。
3	農村資源活用交流施設あぐりの湯こもろ	佐久浅間農業協同組合	農林課	C (C)	58 (60)	【指定管理者意見】 新型コロナの5類移行もあり、イベント等がコロナ禍以前と同程度開催できるようになったことで入館者は前年度より10%増加した。特に恒例の感謝祭の復活は、感謝ウィークに拡大したことで効果があった。経費面では、節電・節水を徹底するとともに、夏季にボイラーを中断させる工夫で更なる節減を図った。現金等の適正な取り扱いは、職場離脱(計画的な休暇時に個人監査すること)を活用して徹底している。証拠書類等もJA佐久浅間本所の監査を受けて厳正に事務処理を行った。設備類の老朽化は市との協議を行いお客様の快適性の充実に取り組んだ。 【所管課意見】 施設運営は安定的に実施されている。新型コロナの5類移行もあり入館者は回復したが、コロナか前より入館者を増加させるには新たな利用者の獲得が必要となるので、収入増につながる新規事業の実施に期待する。
4	小諸市農産物加工施設	味工房「小諸すみれ」	農林課	C (C)	59 (60)	【指定管理者意見】 安定的な運営には、繁忙期(イベント等の重複)と閑散期の差が課題となっている。運営スタッフを含めて高齢化の進行があり、次代の担い手育成も喫緊の課題となっている。商品は認知度が高まり定着してきているので、課題解決のために、商品の安定的販売と新規開拓に継続して取り組みたい。 【所管課意見】 高齢化による人手不足が年々深刻化しているものの、収入は増加傾向であり人員の確保が課題である。令和5年度は食品の乾燥機を導入するなど、生産コストの削減や新商品の開発の取組等、今後の活動に期待ができる。

令和5年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
5	小諸市西小諸活性化施設	西小諸活性化施設運営委員会	農林課	C (C)	60 (60)	【指定管理者意見】 利用状況では、令和5年度は利用件数130件、利用人数3,639人と前年度から大幅に回復した。令和5年度に実施した菜の花まつり、秋の収穫祭及び新そば祭りでは、大勢の来場者が西小諸地区に足を運び、賑わいが創出されている。運営面では、開館時より課題であった事務及び会計を担う人材を確保したことにより、安定的に施設運営できる体制が整えられた。 【所管課意見】 持続可能な組織体制を構築するとともに、新たなイベント等の企画を期待する。
6	小諸市水道施設等	(株)みらい小諸	上水道課	C (C)	64 (65)	【所管課意見】 - 令和5年度決算額で利益剰余金が48,667千円計上されているが、適正な会計処理を行う必要性から引当金の支弁基準を整理し、修繕引当金の活用を検討する。 - 管路更新事業に対する補助制度の要件化にウォーターPPPの導入が想定されることから、財源確保に向け、契約要件の見直しを積極的に検討する。(現在、限度額1億円の補助メニューあり)
7	ワークポート野岸の丘	(特非)ウィズハートさく	健康づくり課	C (C)	65 (65)	【指定管理者意見】 - 就労継続支援B型事業における工賃向上の取り組み:小諸市清掃受託業務や東急ホテルグループ請負作業等を継続し、利用者が継続的に利用できることにより、年間の工賃支払額を前年度に比べて増やすことができた。また、野岸の丘まつりを開催し、販売売上により工賃向上につながった上、活動内容の周知が図られたことで焼き芋の定期販売にも結びついた。 - 余暇支援の取り組み:月2回を限度として土曜日に加えて祝日やお盆中も開催した。1回につき平均5名の利用者が参加し、調理実習や外出等を楽しめた。利用者同士の交流や就職者の休日の居場所にもなった。また、ピアサポーターと協働でリカバリー学習会やわかち合いの会も継続して開催し、生きづらさや生きやすくする方法等について情報交換ができた。 - 就労定着を目指した取り組み:B型事業から利用者3名がパート就労につながった。また、就労後も正規雇用やパート就労者に対する相談や就労を目指す利用者に対して『自分の取説』作り、模擬面接を実施した。面接等により就労定着支援を実施し、2名共6か月以上継続できている。 - 訪問型自立訓練(生活訓練)では、訪問型では行政や関係機関と連携し、課題の多い家庭への支援を継続的におこなった。通所型では、「自己決定ができること、生活の基礎を築くこと、行きたい所に行けるように」を目的に、地域資源の開拓や買い物支援等の個別支援に力をいれた。事業内容の周知を図る為、パンフレットの作成、配布を継続し、新規通所者8名につながった。野岸の丘まつりではバザーを中心におこない、地域の古布リサイクル活動に貢献できた。 - 小諸市社会生活支援事業として、1名のみ利用であったが、見学や相談は複数件あり対応した。新規利用者につながるよう健康づくり課とひきこもりに関するパンフレットを作成するなど実施した。引き続き、各関係機関と連携を図ってきたい。
8	小諸市総合体育館等	(一財)小諸市体育協会 ※現在名称:(一財)小諸市スポーツ協会	スポーツ課	C (C)	63 (60)	【指定管理者意見】 市内外の、各種大会・練習・スポーツ教室・レクリエーション、また関東圏の高校・大学の合宿を幅広く受け入れました。また、アンケート調査をし利用者の要望等の取りまとめを実施。職員の対応については概ね良好であったが、施設の老朽化への改善事項が未だに果たされていない実態も指摘がありました。国スポに向け改修計画がありますが、総合体育館等の施設を市民のために快適な環境で、何年利用していくのが課題です。

令和5年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
9	小諸懐古射院	(一財)小諸市体育協会 ※現在名称:(一財)小諸市スポーツ協会	スポーツ課	C (C)	62 (60)	【指定管理者意見】 ・万一の事故に備え、弓道部にて損害賠償責任保険の加入を検討中。
10	多機能型福祉施設小諸みかげ	(福)長野県知的障害者育成会	福祉課	C (C)	61 (64)	【指定管理者意見】物価高騰対策に関わる交付金などによる支援があり、経営的には大きな支えとなりました。職員スタッフの努力もあり、事業収入はコロナ禍前に戻り更なる増となりました。職員の増員を行い、利用者サービスのITC活用など更なる充実をはかる事ができました。次年度も引き続き社会福祉事業という社会的役割を踏まえて、安心、安定的な運営を行っていきます。 【担当課意見】就労支援事業の確保により、増収になっており、事業所の努力がうかがえます。また、利用者個々の希望を尊重し、心身状況に配慮した適切な支援が行われている。今後も利用者の福利向上、職員の資質向上に努め、必要とされる事業所を目指して、利用者主体の事業運営の継続を求めたい。
11	小諸市児童発達支援施設ひまわり園	(福)小諸学舎	福祉課	C (C)	62 (62)	【指定管理者意見】 利用に際して、感染症予防対策を講じながら、より安心・安全な環境整備に配慮しながら支援体制の充実に努めた。今後も、同様の配慮を継続しつつ、ご家族とお子さんの声に耳を傾け、課題に寄り添いながら、その心身の健やかな成長及び発達を関係者が連携しつつ支援していきたい。 【所管課意見】 令和5年度より児童発達支援センターとしての位置付けとなり、専門的知識を活かし、地域の中核的役割を果たす機関として、庁内関係部署や障がい支援事業所と連携した支援に取り組んでいる。また、児童発達支援、放課後等デイサービスともに利用者が増える中、児童の心身状況等に応じた適切かつ効果的な指導、訓練が実施されている。今後も引き続き利用者のニーズに応じた支援の実施を期待する。
12	小諸市民ガーデン	(特非)こもろの杜	商工観光課	C (C)	67 (69)	【指定管理者意見】 令和5年度は、コロナの影響なく多くの市民・観光客が訪れてくださったので、これまで以上に四季の草花による魅力づくりに注力した。様々な催しやお客様サービスをスタッフ皆で考えて実行してきた。SNSやアンケートでは、概ね公園を高く評価いただいており、意見に対しては一つ一つ誠実に対応してきた。レベルの高いサービスを提供するため、スタッフのスキルアップやチームワークづくりに努めた。 【所管課意見】 小諸市の玄関口として、多くの市民、観光客が訪れる施設となっており、利用者からの評価も高い。多彩なイベント・講座を主催し、また市や会議所の事業にも積極的に協力し利用者の増に務めている。駅前の立地を活かし、人が集まる魅力的な場所として懐古園、本陣主屋、大手門公園、相生町商店街等と一体化した「回遊性」のある、まちづくりの拠点施設として今後の活躍に期待したい。
13	小諸市北国街道ほんまち町屋館	本町区	商工観光課	C (C)	58 (58)	【指定管理者意見】 来館者数は7月の健速神社例大祭、2～3月のお人形さんめぐりの本格開催により増加しているが、貸館利用が昨年度より減っている。継続使用している諸団体の高齢化による解散等が要因と思われる。本町区民による年18回の清掃作業を行っている。 【所管課意見】 今年度は、コロナによる制約も無くなったので、新たな利用者の獲得、収入の増加のための積極的な広報活動を期待する。スタッフの高齢化の課題もあり、事業内容は現状維持となりつつあるので、若い世代を交えた自主事業の検討が必要である。

令和5年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
14	小諸市北国街道与良館	与良区	商工観光課	C (C)	61 (60)	【指定管理者意見】 与良館独自の自主事業の実施や物販を行い、地域コミュニティの場が定着している。地域の高齢者の憩いの場、また来訪者のおもてなしの場として定着しているが、収益を上げる事業も展開していきたいと考えてはいるが、スタッフの高齢化により、指定管理を継続していくこと事態も困難となる懸念がある。 【所管課意見】 地域の若い世代を交え、運営を検討していく必要がある。
15	小諸市旧脇本陣滞在型交流施設	(一社)こもろ観光局	商工観光課	C (C)	60 (60)	【指定管理者意見】 宿泊の収入については増収となったが、安定的な雇用確保により人件費に投資したため全体では減収となった。海外からの来訪者が多かったKOMORO FAIRでの出張茶席や、バスツアーの立ち寄りスポットとして日本酒の飲み比べを行い、インバウンド事業に積極的に取り組み好評を得た。 【所管課意見】 インバウンド需要が増加傾向にあるため、情報発信や受け入れ体制を強化する必要がある。